

令和2年度第1回

隠岐の島町総合教育会議 会議録

1. 開催日時 令和2年4月23日(木)9時00分～9時38分

2. 開催場所 隠岐の島町教育委員会 2階会議室

3. 出席者 町長 池田 高世偉
教育委員会 教育長 野津 浩一
教育委員会 委員 野津 幸恵
教育委員会 委員 山下 豊範
教育委員会 委員 常角 敏
教育委員会 委員 谷田 一子

【事務局】

総務学校教育課長 吉田 隆、社会教育課長 野津千秋、
中央公民館長 金坂賢一、総務学校教育課長補佐 中村恒一

4. 意見交換 (1) 教育大綱の策定について
(2) その他

5. 傍聴人数 3名

6. 会議の経過 別紙のとおり

7. 会議録作成者 総務学校教育課 総務係 中村恒一

8. 会議録署名者 署名日 令和2年6月30日

町長 池田高世偉

教育委員 谷田一子

別 紙（議題の経過）

○開 会

事務局職員が出席者の確認をした後、町長は開会を宣言した。

（池田町長） これまでご心配をお掛けした新教育長と谷田委員を迎えての初めての会議である。以前の会議で学校の管理という位置づけが二転三転し、申し訳なかった。学校管理の在り方については、次の会議で教育長の方から話していただきたい。

新型コロナウイルスのため苦慮しており、皆さんにご迷惑をお掛けしている。この影響で児童生徒がどうなるか、どのように生活をおくっているのか心配するところである。このあと教育委員会で協議され、ご提案を頂く中で町政に反映させていただきたい。

○新委員あいさつ

4月1日就任となった野津教育長と谷田委員が就任のあいさつをした。

○会議録署名者の氏名

町長は、谷田委員を議事録署名者に指名した。

○意見交換

（1）教育大綱の策定について

事務局より第2期隠岐の島町教育大綱の策定の背景について説明を行った。

（吉田課長） 現行の教育大綱については、令和元年度までとなっており、昨年度の会議の中で検討し、第2期については第2次総合振興計画（今年6月完成）を受けて、1年遅れるが令和2年度中に策定する方向となったことの確認を行い、国・県の状況について資料により説明を行った。

（常角委員） 「隠岐びとのこころ」を持った人材育成について、隠岐でなくともよい項目があがっている。隠岐びとについてもっと掘り下げていただきたい。

基本施策「隠岐びとが学び集う学習環境の創出」について、社会教育は現代的課題について、住民が学習意欲の有無に関わらず学習の場を提供する。現代的課題は、人権、環境、災害、少子高齢化、高度情報化社会、領土問題、限界集落等ある。わが町の課題とマッチングさせながらどんな学習機会を提供していくか、公民館とどう取り組んでいくかが大切である。

学習環境の整備に子どもたちの安全・安心な学校生活づくりとなっているが効果的学習環境も入れるべきである。

（池田町長） 来年度からの大綱について、まずは事務局に大綱案を出していただき、委員の皆様から意見やその他の方々のご意見をまとめてここで決定することとしたい。

（谷田委員） 県立学校について、町と県の壁を取り払って、連携を推進して頂きたい。このことが一つの柱となると思うので次の大綱にこのことを踏まえていただきたい。

（吉田課長） 教育魅力化事業にさらに力を入れるなど連携を図りたい。

（野津委員） 県の大綱は5年間、町は4年間となっており整合性を持った方がよいのではと思う。

（吉田課長） 町の総合振興計画との兼ね合いもあり、事務局で案をつくって意見を伺

うこととしたい。

(池田町長) 事務局は案をつくって皆様にお諮りをしてください。今年に入り教育長不在であったので毎月会議を開催していたが今後は必要に応じてすることとし、ご理解をいただきたい。

(2) その他

(山下委員) 新型コロナの影響もあり、現状として元通りの生活にもどるまでは、この総合教育会議を続けるべきではないかと思う。また、町長は学校再開のきっかけはどのように考えているのか。

(池田町長) 非常に難しい問題であるが町内では発生していない段階と町内に万が一発生した場合と大きく変わってくる。まずは、国の情勢が変わる連休明けの国の方針を見て再開を決めることとなる。

今回の休業も町内に発生するまでは学校は続ける方向であったが、県の方針もあり一斉休業となった。個人的には6月いっぱいまでが一つの目安と考えている。国の情勢もあるができるだけ5月中に早めに再開したい。設置者は町長、最終的に町の対策本部で方向を決定するが設置管理は学校である。教育長を中心に検討したものを私が受ける。児童生徒を学校の場に戻したいという思いは常に持っている。

(山下委員) 限られた島の中であるため、暮らしも経済もリンクしている。他の地域と全く違う環境にある。何か抜かりがあればすぐに崩れてくる。学校休業している現状を踏まえ、もっと大胆な策をとる声も聞こえている。まだまだ手が打てる中でウイルスが入ってしまうとみんながっかりとしてしまう。このままではやっていけないと身を持って感じている。

先日の西郷南中の休校の件からもいろんな未確認の情報も出回っている。みんな自分のところが感染したらと恐怖の中で生活している。大胆な防御策をかじ取ってやっていただきたい。

(池田町長) 一斉休業について県の要請を断ることはできなかった。経済活動については、先般、町として大胆な政策をおこなった。ウイルス対策に何が効果的なのか難しいところである。隠岐航路における水際対策についても我々は自粛の要請しかできない。乗船拒否の権限は船長にしかない。

色々な噂について、啓発普及しても止められない状況である。

(谷田委員) 隠岐から島外へ進学した子どもたちが沢山いる。松江での発生を受け、寮が閉められると子どもたちは帰ってこなければならなくなるが、コロナ疎開はやめてくれと言われる方も沢山いる。未成年の子どもを向こうで一人に出来ない。子どもたちが安心して戻って来れるシステムをつくって欲しい。

(池田町長) 水産高校などの島外から来られる子どもに対しての施策はやっているが、島内に帰って来られる方にまでは検討が至っていない。

言われた内容をご意見として伺った。

○閉会

町長は閉会を宣言した。